

分岐単位接続料設定議論について

分岐単位接続料に関するこれまでの方針

【「光の道」構想実現に向けて 取りまとめ】(2010/12/14)

競争事業者の参入促進による料金の低廉化・サービスの多様化を推進し、**分岐回線単位での接続料設定**を含め、平成23年度以降の接続料算定方法の見直しに向けた**具体的な検討を開始**することが適当

「平成23年度以降の加入光ファイバに係る接続料」答申 (2011/3/29)

分岐単位接続料の設定の適否については、～(略)平成24年度の加入光ファイバ接続料に係る乖離額の補正申請に向けて一定の結論を得るべく**引き続き検討**を行う

今年度中に結論を出すべく、接続委員会において
2011年10月議論再開

弊社共の提案

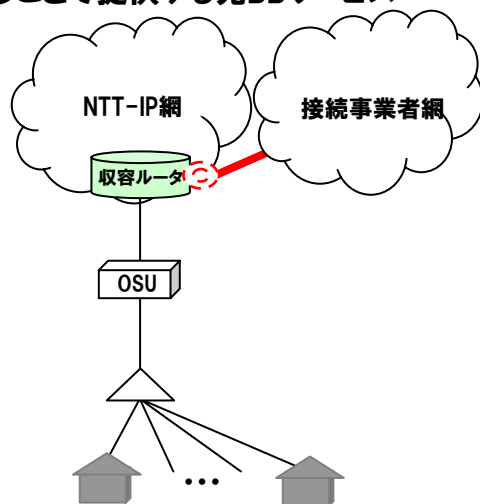
ADSL同等(1ユーザ単位1,500円程度)の接続料を実現するため、
以下を提案

1. 設備効率向上の観点から、GC接続類似機能及びNTT東西殿を含めたOSU共用の2案を提案
2. 新規事業者参入およびサービス競争促進の観点から、NTT東西殿とのOSU共用を行わない場合の分岐単位接続料のプライシングを提案

1.を実現するための構成

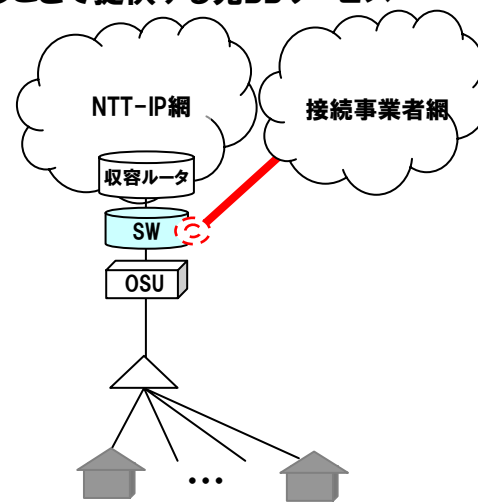
【GC接続類似機能】

NGN収容局ルータにて、1分岐回線単位の接続を行うことで提供する光BBサービス



【OSU共用】

振り分け装置を設置し、1分岐回線単位の接続を行うことで提供する光BBサービス



とりまとめ案について (3/6 接続委員会)

とりまとめの方向性(案)

- 競争阻害要因の解消に向け、光配線区画の見直し
- 光配線区画見直し実施までの**補完的措置**として、**非競争地域限定**でエンリーメニュー※を導入
- **分岐単位接続料設定はなし**、今後の議論予定なし

※一芯の初年度料金を約20%を割引、3年目にその割引額を加算されるメニュー
(3年間の総支払額は同じ)

弊社共の考えるとりまとめ案の問題点

とりまとめ案の問題点

1. NTT東西殿を含めたOSU共用等についての技術的、コスト的な議論が不十分
2. **都市部での競争促進**の視点がない
3. 分岐単位接続料のプライシングについての議論が不十分。特に、エントリーメニューには以下の問題が存在
 - ① **新規参入事業者はほぼ見込めない**
 - ② **既存サービス提供事業者が地域で更なる寡占化を進める恐れ**

要望書について

FTTH市場における事業者の新規参入・サービス競争促進のため、以下の要望書を本日総務大臣宛に提出

NTT東西殿を含めたOSU共用等の継続的な議論を行う場の設置

分岐単位接続料設定のためのプライシングを検討する場の設置